

矢板地区 市政5大ニュース

(矢板地区行政区長との懇談会 説明資料)



令和元年9月25日
矢板市長 齋藤淳一郎

矢板地区市政5大ニュース 目次

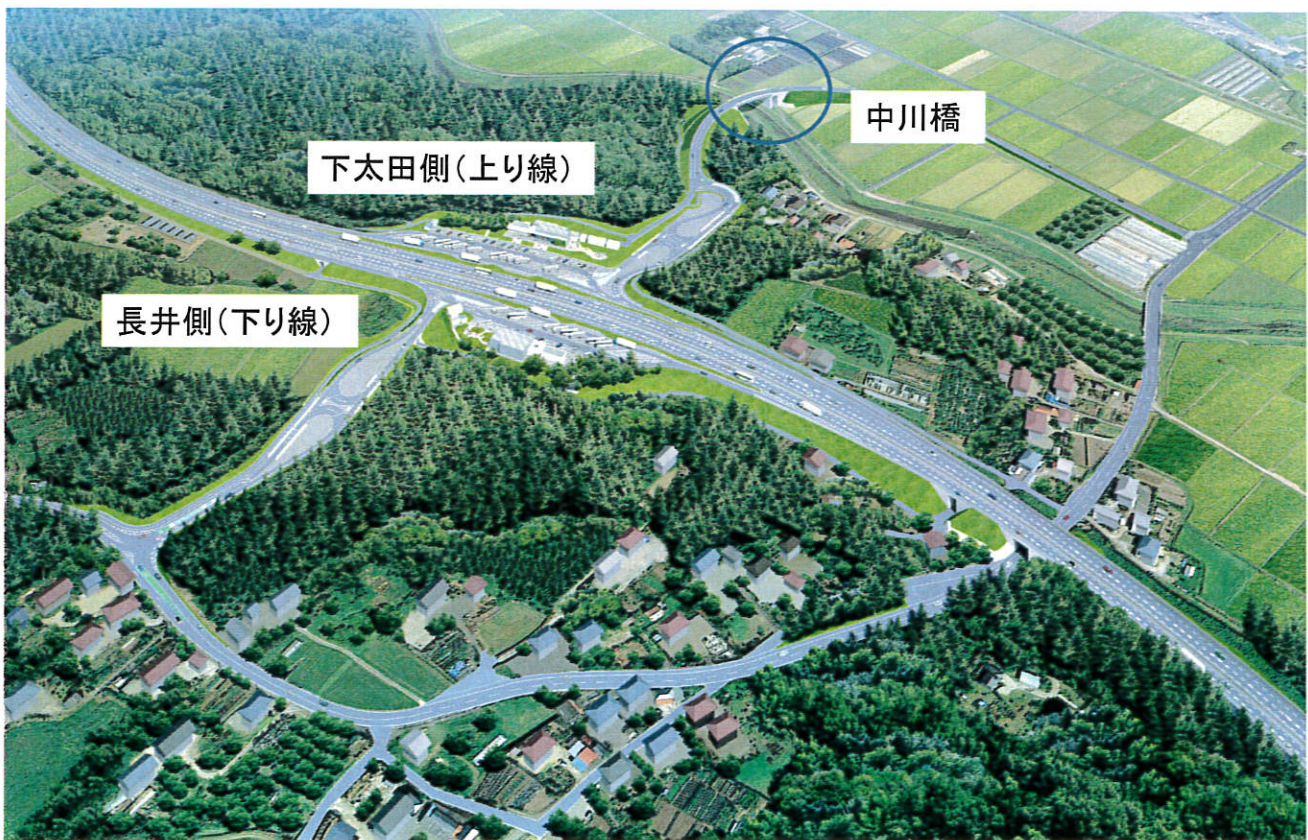
- ①矢板北スマートICの整備工事、順調に推移！
- ②民設民営でフットボールセンターオープン！
- ③矢板ふるさと支援センター活動本格化！
- ④中心市街地で地籍調査スタート！
- ⑤西小、47年の歴史に幕閉じる・・・
- 【番外①】身近な生活道路の整備が進む！
- 【番外②】「とちぎの道現場検証」(R1.8.26)

矢板地区市政5大ニュース①【下太田、長井外】 矢板北スマートICの整備工事、順調に推移!

下太田・長井地内での東北自動車道矢板北スマートIC整備計画は、平成28年5月に新規事業化され、29年度から国庫補助事業に格上げされた。

そこで市では、29年度中に各種の調査用務を完了させた上で、昨年中に地権者の方全員に用地のご協力をいただいた。

その後、昨年度中に工事を発注し、本年度は新たに2億2,500万円の予算を投じて、一級中川の橋梁下部工・上部工を施工し、令和3年3月の供用開始を確かなものにしていく。



矢板北スマートIC完成予想図

矢板地区市政5大ニュース②【末広町、富田、中、東町外】 民設民営でフットボールセンターオープン!

前市長時代に計画されたとちぎフットボールセンター整備事業で、矢板市の負担額は一時、10億円まで膨れ上がってしまった。

そこで市では、計画規模を縮小するとともに、「土地の無償貸付」「固定資産税相当の補助金交付」という全国的に例のない手法で、その整備と運営を、(NPO法人)たかはら那須スポーツクラブに委ねることとし、負担額を1億円まで圧縮することができた。

本年4月3日にオープンしたセンターには、その後4カ月間で3万人超の利用者があった。



とちぎフットボールセンターの当初計画と最終計画との比較 市の負担額は10億円から1億円に削減!

	当初計画①「公設公営」 (平成27年12月時点※1)	当初計画②「公設公営」 (平成29年6月時点※2)	最終計画「民設民営」 (平成29年12月時点)
グラウンド	人工芝2面(夜間照明付) 天然芝1面	人工芝2面(夜間照明付) 天然芝1面	人工芝2面(夜間照明付)
クラブハウス	2階建1棟(1,192㎡)	2階建1棟(1,192㎡)	2階建1棟(400㎡)
建築工事費	9億3,000万円	11億5,910万円	4億円
設計費	—————	3,477万円	
市負担額	6億6,700万円	10億3,587万円	1億円 (※外構、ゲート整備等)

※1 平成27年12月25日に栃木県サッカー協会に提出された提案書に基づく。

※2 平成29年6月9日に公表された民間活力導入可能性調査の結果に基づく。

矢板地区市政5大ニュース③【矢板6区外】 矢板ふるさと支援センター活動本格化!

昨年度から、県は県内市町に対し、地域の課題解決に取り組む住民の支援や、持続可能な地域づくりを進めるために、「ふるさと支援センター」の設立を促している。

そこで本市では昨年5月、県内市町に先がけて、「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」を立ち上げ、本年6月には矢板駅西口の空き店舗に拠点施設を開設した。

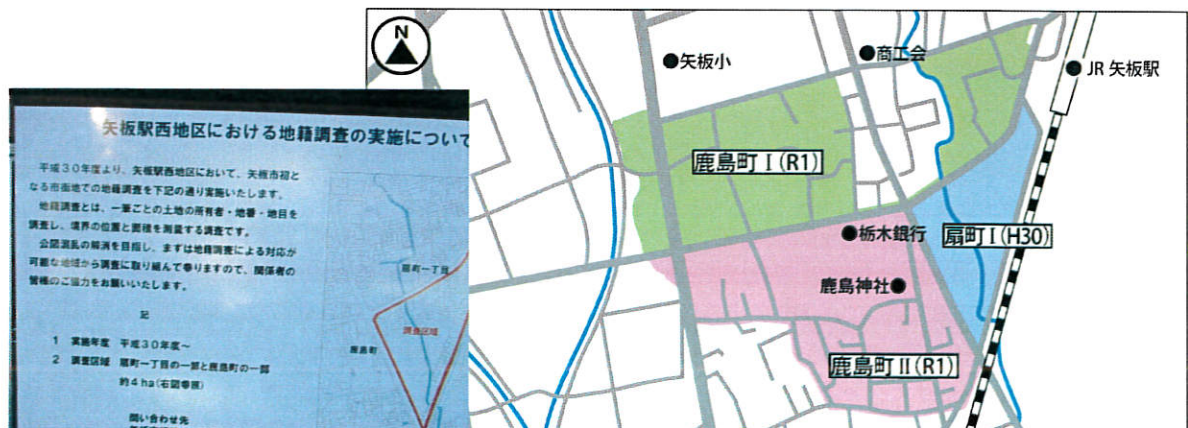
「TAKIBI」には、市の地域おこし協力隊員4名、集落支援員2名が在籍し、中心市街地活性化や地域住民との交流の場づくりを目指すこととしている。



矢板地区市政5大ニュース④【矢板1区、2区、3区、6区、富田】 中心市街地で地籍調査スタート!

本市の中心市街地は、法務局備付けの公図と実際の境界が大きく異なる「公図混乱」状態にあり、これまで土地の売買や貸借が進まず、また近年は、都市再生の取組にも大きな障害となっていた。

そこで市では昨年度から、中心市街地の約4haで、公図混乱を解消するための「地籍調査」に着手し、本年度は、本町、鹿島町地内の約24haに範囲を拡大して地籍整備を更に推進することとしている。



矢板地区市政5大ニュース⑤【倉掛、合会、片俣、塩田、幸岡】

西小、47年の歴史に幕閉じる…

本年3月末で、西小学校(児童数26名)が閉校し、矢板小学校に統合された。

昭和47年に創立された西小の児童数は、昭和60年の159人をピークに減少し続けていた。

そこで市は小規模特認校の指定や放課後子ども教室「西の森ふれあいスクール」の開設等によって支援してきたが、減少に歯止めがかからなかったことから、平成29年1月から2回にわたるアンケート調査を実施した上で報告会を開催するなどして、「閉校やむなし」の結論を得た。



矢板地区市政5大ニュース【番外①】 身近な生活道路の整備が進む!



富田地内の農道整備事業(延長140m)



境林地内の舗裝修繕工事(延長210m)



荒井地内の待避所設置工事



中地内の認定外道路の暫定拡幅

矢板地区市政5大ニュース【番外②】 「とちぎの道 現場検証」 (R1.8.26)

「とちぎの道現場検証」→国、県、市といった道路管理者、交通管理者(警察)、教育関係者や地元住民代表など、地域の道路に関係する様々な立場の方が一堂に会し、実際に現場の状況を確認し、認識を共有することで、より良い道路整備につなげていくことを目的に例年開催されている。



道路が連続して屈曲している上、冬期の路面凍結(日陰対策)が課題となっている倉掛地内の一般国道461号の現場



県道那須烏山矢板線が直角に折れ曲がり、市道との特殊なT字路になっている成田地内の現場

最後に・・・

今後とも「未来づくり懇談会」等でお寄せいただいたご意見やご提案、ご要望をしっかりと受け止め、本格的な人口減少・少子高齢社会に即したまちづくりに努めてまいりますので、行政区長の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。



沢、豊田区長から、県道矢板那珂川線の整備要望書を受け取る市長(H31.4.19)



土屋、沢、豊田、山田行政区長から、「一級河川箒川の堤防整備に関する要望」を受け取る市長(R1.8.9)